

令和2年度 第2回函南町立図書館協議会 議事録

- 1 日 時 令和3年3月10日(水) 午後3時～午後4時15分
- 2 会 場 かなみ知恵の和館 1階 多目的室
- 3 出席者 委員 齋藤 修 学校教育関係者
石田 和久 学識経験者
富永 和彦 学識経験者
佐藤 泰博 社会教育関係者
稲葉 優子 家庭教育活動者
杉山 恵子 学識経験者
青柳 由香 家庭教育活動者
事務局 渡辺 正樹 生涯学習課長
牧野 満枝 函南町立図書館館長 (生涯学習課課長補佐)
八木 隆二 生涯学習課参事

4 公開・非公開
の 別 公 開

5 傍聴人の数 無し

6 内 容

- (1) 開会
- (2) あいさつ 渡辺生涯学習課長
- (3) 報告事項

下記①、②について会議資料により報告 館長

① 新型コロナウイルスの対応について

② 令和2年度事業報告

- ・令和2年度図書館利用状況について
- ・令和2年度実施事業について
- ・令和2年度蔵書点検結果について

各委員から出されたご意見等

(委員)

おはなし会を司書の方たちで限定7組で行っていたようですが、コンスタントに7組が集まっていたか。

(館長)

子育て交流センターの遊びの時間が3時30分までなので、その後の時間の方が参加しやすいのではという事で3時30分から15分間で実施しています。常に3組くらいは参加していただいでいて3組で親子2人から3、4人ぐらいは収まりますので、こども図書館のおはなしのへやに少し距離を取っていただいで家族ごとに座っていただくやり方で行っております。

(委員)

ご苦労なさっている事がよくわかりますので、実際はもっと大変ではないのかなと思います。早くコロナが終息してくれればと思っております。

(委員)

いつも図書館に来て清潔で良いと感じています。特に図書消毒機があって簡単に利用できるのが良いと思います。それから、文芸かんなみも読ませていただいて大変良いものになっていると思いました。ブックスタートは途中からやっていただいているのですよね。私の息子の嫁と孫が本を読んでもらったり、その後、本を借りてくるので大変助かっています。産後鬱になるところを子育て交流センターもずっとやっていますし、時間が制限されてはいますが読み聞かせもやったり、その後、本を借りてきてというパターンが定着していて非常に助かっています。

(議長)

私のご近所のお母さんとお子さんも図書館に来ているようで、図書館に来ることが生活の中で解放されて楽しいと思われていて、足を運んでいただけていることは大変良いことだと思います。

(委員)

私が予測していた利用者数より利用があることがわかりました。非常に公共サービスの難しい中で大変上手な兼ね合いで人数コントロールをしていった1年間だっただろうと思います。本の貸出数も1月2月には、前年並みに戻ってきているという事もうれしいことで年間を通してこのような制限がある中でもこれだけ必要としている人がいる、求めている人がいるということが改めてわかります。ですので、リピーターのような人たちがいるんだなということで、この図書館のあり方がこのような危機的な状況の中でも良い見方で見えてきた1年だったのではないのでしょうか。学校では700人の生徒が体育館に1度も全員で集まれていない状況で、ペア学年で行う際には保護者の方が大変協力的でご理解いただき、参観会なども15分参加でお願いしてもそれを守っていただいています。学校は保護者なんですけど、図書館は不特定多数の方が来られますので制限したときに結構声があがったのではないですか。

(館長)

休館してしまっって図書館の中に入れない時は一番大変でした。電話によるリクエストを受けてご用意した本をお渡しするのを行っていましたが、皆さんは中に入って本を選びたい、それが出来なくてその時が一番ご意見をいただきました。開館してからは、30分という制限はあるけれども自分で見て選べて借りられるという事でそのようなご意見は減りました。

(委員)

10月頃から外部の読み聞かせが始まりましたのでそこに参加しながら、この図書館もよく利用しています。子どもたちが親御さんと利用している姿を見るとやはり図書館はいいなと思って見えています。早く読み聞かせボランティアも始まってほしいと思いながら図書館に来ています。

(委員)

親子図書館見学が今年は出来なかった代わりに11月に1か月間60冊の本を園の方に貸出していただいて大変ありがたかったです。クラスに置くことは出来ませんでした。自由に見てもよい部屋を1カ所作ったことで、子どもたちがクラス図書だけでなく本に興味を示してくれて、お部屋に行っては自分のクラスに持って行って本を読む姿がすごく見られましたし、子どもたちだけでなく丁度季節に合った本をリストアップしてくださっていたので先生方もすごく保育に活用できたということで喜んでいました。また、リストアップしていただいてあったので、また来年もこの本を借りたいと先生たちの参考にもなっています。この親子図書館見学を長年続けてきて、また今回このように貸出をしていただいたということで、先生たちが園にある本だけではなく自分で図書館の本を借りてきて子どもたちに提供しているということが昨年今年と多く見られ、先生たちも頼りにしているところでもあり、つながりがあると感じました。

(委員)

PTAの定例会を月に1度開催するんですが、そこでもお母さんたちが子どもが暇を持て余してしまうので本を多く借りて何度も何度も読んでいるというお話も伺います。私の子どもも本が大好きなんですが、私が仕事をしているので平日に連れてくるのが難しく、幼稚園で毎月配られる本を毎日日替わりで読んでいます。その姿を見ているとちょっとかわいそうだなと思っています。図書館に連れて行ってあげたいと思っはいますが、利用する回数が少ないので図書館の混雑状況がどの時間が一番多くてどの時間が人を避けて利用出来るかというのがわからないので、足が遠のいてしまうという現状があります。子どもには暇な時間に行こうねと言いつつ仕事を優先してしまうところがあって本当に申し訳ないと思っています。これからは、いろいろな工夫もしていただいて、また、いろいろな苦悩があっても現状良い方向に持って行っていただいているのでとてもありがたいと改めて感じましたので、これからどんどん利用していければと思っています。

(議長)

それぞれの団体がコロナの対策をしていますが、図書館は大変上手にベースを崩さずに対応をしているところは大変優れていると思いました。ぜひ前向きに検討していろいろなことを行っていただければと思います。

(4) 協議事項

① 令和3年度事業計画について館長から説明

各委員から出されたご意見

(議長)

事務局から説明がありました。今出来る対応としての提案となっております。その後の事につきましては状況を見ながら進めていきたいという事です。

(委員)

町内小学校へのテーマ貸出をしていますが、もともと子どもたちへの本の貸出を機会均等に出来るよう遠方の桑村小と丹那小には出張貸出をしたり読み聞かせをしたりするという事で始めたと思います。それに加え今回は、図書館を利用する子どもと利用しない子どもの格差をなくすため、函南小、東小、西小にもテーマ貸出をするとのことです。地域差だけでなく図書館を利用できない子どもたちも学校へ貸出することによって本を読む機会が増えますので、今後学校と連携を取りながら進めていただければと思います。また、調べ学習用の図書を購入したという事です。

(館長)

図書館の滞在時間が短く、調べ学習がゆっくり出来ない子どもたちのためにコロナ交付金を活用して、調べ学習用の図書を購入しました。この図書は学校に貸出するものです。

(委員)

調べ学習の時に大変役立つものと思います。読書とか図書というものは対立軸で語られることが多いと思いますが、来年度から児童一人一人にタブレットが配布され、簡単な調べ学習ができるようになります。その中で情報をどうやって得るのかということになるとタブレット検索という事になるとは思いますが、タブレットで得る情報は表面的な情報だけだと思いますので、論理的に組み上げていくためには本の重要性が出てくると思います。これから調べ学習の際にタブレットの良さと本の良さを学校の中でも押さえられていければと思います。また、読書そのものについても一時的に小中学生の読書量が下がる可能性もあるかもしれませんが、今まで本を読んできた子どもたちは読書の面白みを知っているのでディスプレイではなく、直接ページをめくれる本があるということはすごく魅力があると思います。これからディスプレイと本の良い落としどころをみんなで見つけていく時かと思います。今後、学校の現場と図書館と連携しながら良い落としどころを見つけていければと思います。

(議長)

両方を並列して使い分けていければ特に小学生あたりは良いかと思います。大変図書数が多いので現場の先生方が上手に使えるように示していただければと思います。

(7) 閉会